

令和6年度当初予算のポイント

テーマ GDW加速化予算 ～持続可能な市川三郷町の実現に向けて～

予算規模 93億514万円（一般会計）

3つのポイント 1.行財政改革推進計画の具体化 2.健全な財政運営に向けた予算編成 3.将来に向けた積極的投資の実現

ポイント1 行財政改革推進計画の具体化

（1）新たな取り組み

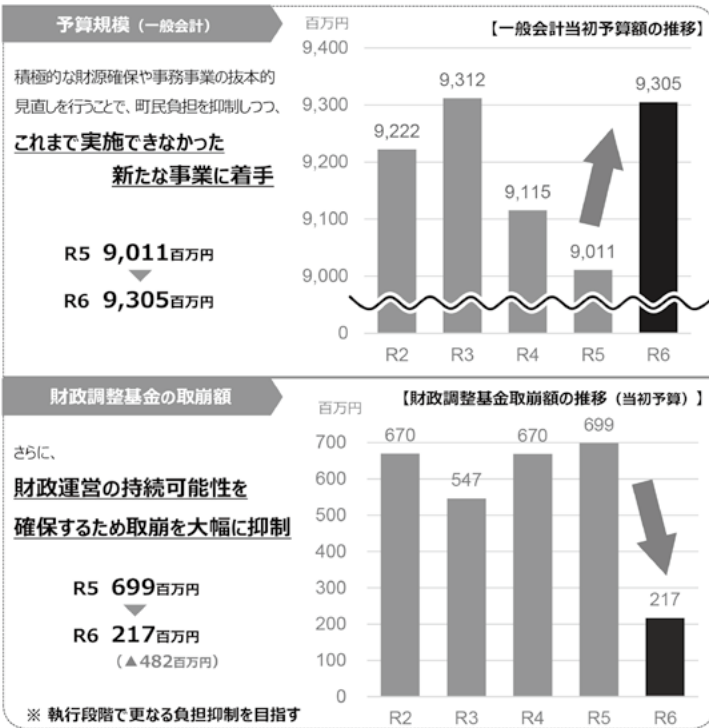
- 地域公共交通計画策定事業（6,934千円）
地域公共交通体制の抜本的見直しを図るため、地域公共交通計画を策定
- 小中学校適正規模・配置検討委員会設置事業（214千円）
教育環境の充実強化を図るため、適正規模・配置等を検討する委員会を設置
- 防災行政無線機能強化事業（369,000千円）
災害時における情報伝達手段の強化を図るため、防災行政無線を更新

（2）事務事業の抜本的見直し

- 人件費（▲48,103千円）
正職員（195人→193人）、会計年度任用職員（171人→153人）
- 大門碑林公園管理事業（▲3,911千円）
開園日数の縮小 週6日営業 → 基本週3日営業（金・土・日（祝日））
- ふるさと会館・歌舞伎資料館管理事業（▲5,731千円）
開園日数の縮小 週6日営業 → 基本週3日営業（金・土・日（祝日））
- ニードスポーツセンター管理事業（▲7,534千円）
- つむぎの湯・いきいきセンター管理事業（▲34,127千円）
- シーリングによる一般財源負担の抑制（▲314,185千円）
➡ 縮減経費をもとに将来への積極投資を実現

主な取り組み

ポイント2 健全な財政運営に向けた予算編成



令和6年度当初予算について説明する遠藤浩町長（2月26日）

令和6年度当初予算

町は1年間どんなことにいくらかお金を使うのか。その計画を示した令和6年度当初予算案が3月議会において可決されました。

「行財政改革推進計画の具体化」「健全な財政運営に向けた予算編成」「将来に向けた積極的投資の実現」の3つのポイントを着実に実行し、その成果を町民の皆さまにしっかりと還元してまいります。

～持続可能な市川三郷町の実現に向けて～

一般会計当初予算額

93 億 514 万円

ポイント3 将来に向けた積極的投資の実現

地域活性化施策の強化

- ④ 第3次総合計画策定事業（10,195千円）
- ④ 六郷IC周辺基盤整備事業（18,227千円）
- ④ 役場前線及び役場前南線整備事業（4,700千円）
- ④ 青洲高校との協働による地域活性化事業（50千円）

GDW加速化予算

新たな時代のニーズに対応した
新規・拡充事業を積極展開



高齢者支援の推進

- ④ 地域公共交通計画策定事業（6,934千円）
- ④ 健康ビジョン加速化事業（パッケージ）（8,721千円）
- ④ シニアライフ応援コーナー設置事業（2,000千円）
- ④ 生活支援体制整備事業（538千円）

民間活力の活用

- ④ 市川三郷町応援団ネットワーク事業（1,045千円）
- ④ 市川公園MTBフィールド整備事業（10,300千円）
- ④ 峡南ネクスト共創会議観光振興推進事業（2,266千円）
- ④ オマーン大使館との交流事業（135千円）

安全・安心なまちづくり

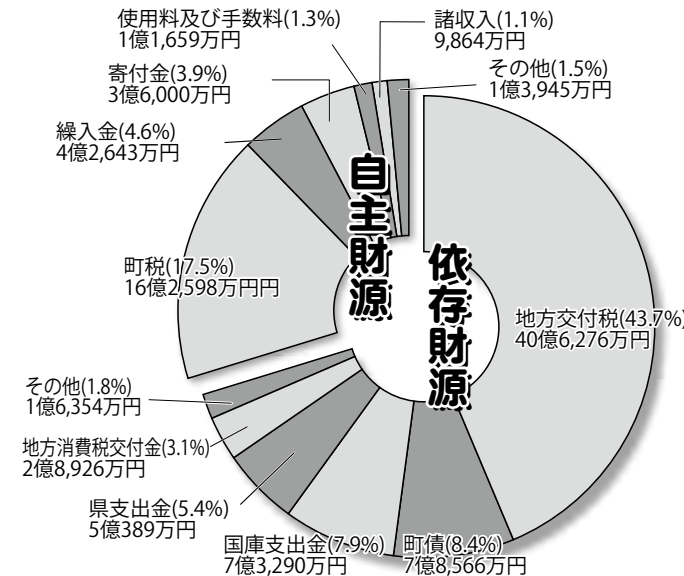
- ④ 防災行政無線機能強化事業（369,000千円）
- ④ 民間木造住宅耐震改修等補助金（5,000千円）
- ④ 災害時通信体制強化事業（1,430千円）
- ④ たん水防除事業（大塚地区）（2,600千円）

こども子育て施策の充実

- ④ 学校給食費無償化事業（50,108千円）
- ④ 小中高等学校入学祝金支給事業（3,302千円）
- ④ こども計画策定事業（6,889千円）
- ④ 不妊治療助成事業（3,200千円）

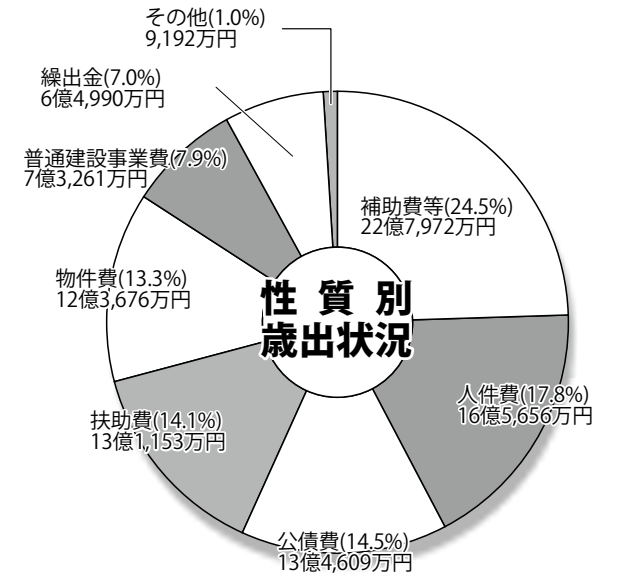
令和6年度
一般会計

歳入



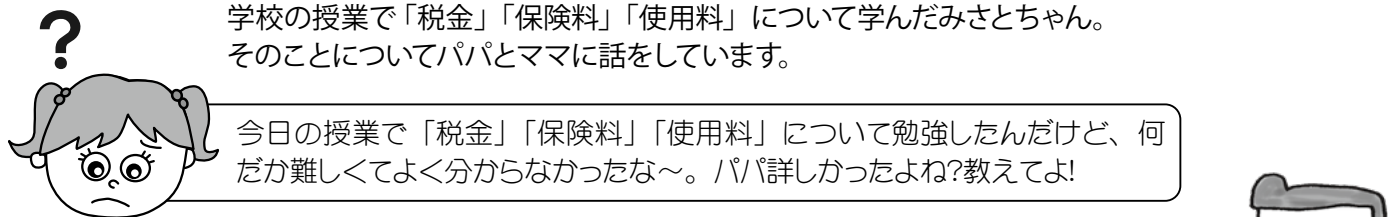
令和6年度
一般会計

歳出



※表示単位四捨五入の関係で、積み上げと合計が一致しない箇所があります。

当初予算特集コラム 「税金」「保険料」「使用料」について考える

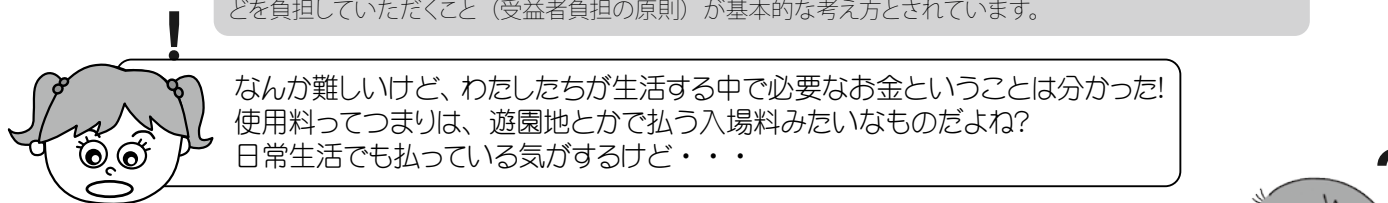


学校の授業で「税金」「保険料」「使用料」について学んだみさとちゃん。そのことについてパパとママに話をしています。

今日の授業で「税金」「保険料」「使用料」について勉強したんだけど、何だか難しくてよく分からなかったな～。パパ詳しくったよね？教えてよ！

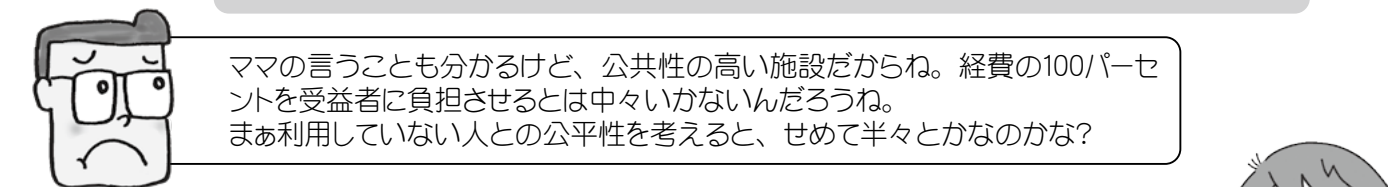
分かったよ。大人でも難しい話だけど頑張って聞いてね。
まず「税金」だけど、みんなの役に立つ道路を作ったり、みさとの通っている公立の小学校を運営していくために少しずつお金を出し合う、社会の「会費」のようなものなんだよ。国や県、市町村が法令に基づいて納めてもらっているものなんだ。次に「保険料」は、病気やケガをしたときにかかるお金をみんなで出し合うことで、今困っている人をそのお金で助け、もし自分が困ったときはそのお金で助けてもらう「相互扶助」という考えに基づいて納めるものなんだ。最後に、「使用料」だけど、町で作った体育施設や温泉などを利用する人に負担してもらおうお金で、「受益者負担（※）」という考えに基づいて納めるものなんだ。料金は町で定めているんだよ。

※地方自治体の提供する公共サービスは、広く住民の皆様から徴収した税金により賄うのが原則ですが、サービスにより利益を受ける方が特定されるものについては、全てを税金で賄うと、サービスを受ける方と受けない方との不公平が生じてしまいます。このような観点から、サービスにより利益を受ける特定の方に、受益の範囲内で使用料や手数料などを負担していただくこと（受益者負担の原則）が基本的な考え方とされています。



なんか難しいけど、わたしたちが生活する中で必要なお金ということは分かった！使用料ってつまりは、遊園地とかで払う入場料みたいなものだよ？日常生活でも払っている気がするけど・・・

みさとの言うとおり、使用料は公共か民間かに関係なく日常的に払っているものよ！
でも、ひとつ分からないのが、民間の施設だと全て利用するお客さんが必要経費を払っているんだから、100パーセント受益者負担ってことになるよね。公共施設もそれで良い気がするんだけど・・・



ママの言うことも分かるけど、公共性の高い施設だからね。経費の100パーセントを受益者に負担させるとは中々いえないだろうね。まあ利用していない人との公平性を考えると、せめて半々とかなのかな？

半々ね・・・私は利用していない人たちの気持ちも考えると、利用する人に全額負担してほしい気もするけど・・・

私たちが日常的に払っている「税金」「保険料」「使用料」。その適正かつ公平な配分について、皆さんはどのように考えますか？

令和6年度版「知ってほしい、まちの予算」(概要版)

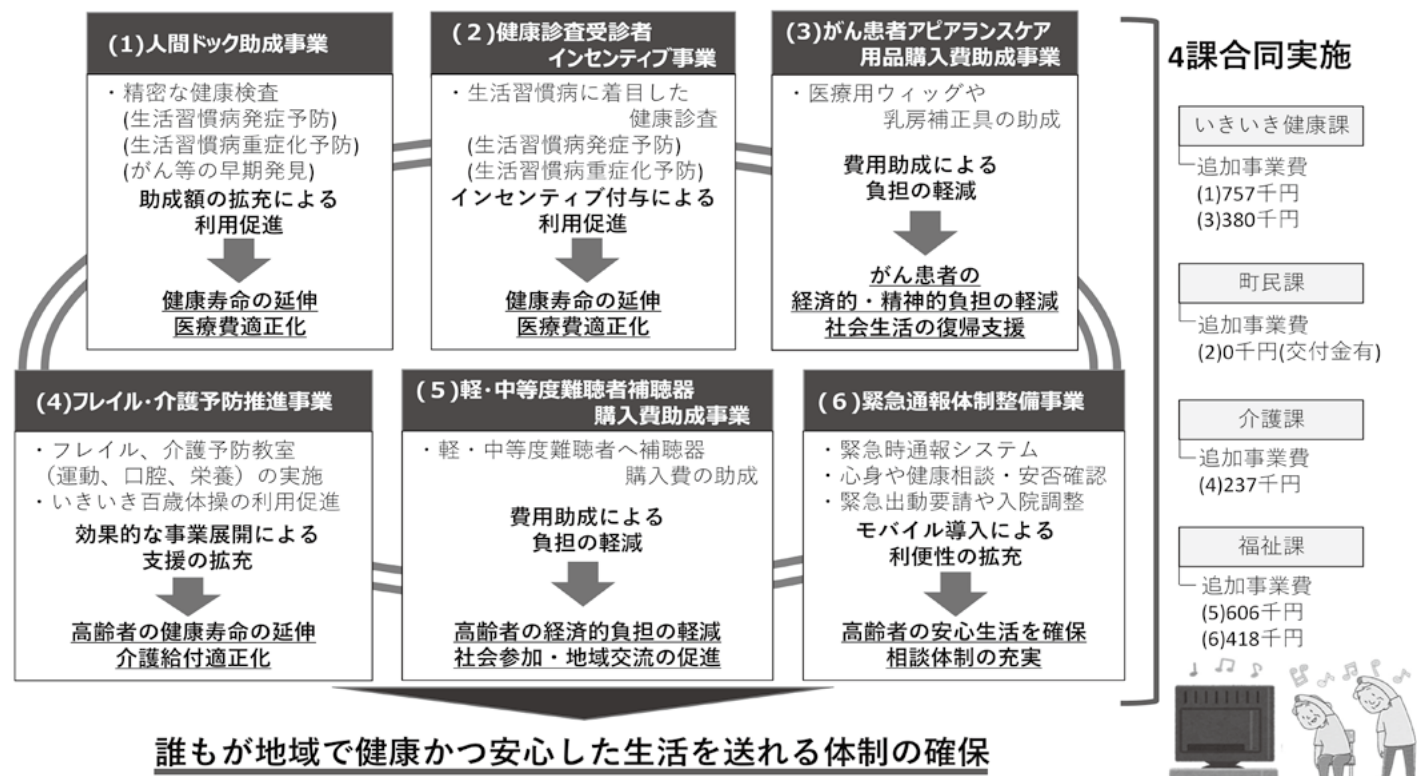
広報紙だけでは伝えきれない各種事業について、わかりやすく説明した「知ってほしい、まちの予算」を発行します。完成後、各組回覧するほか、町内公共施設にも設置します。また、町ホームページにもPDFファイルを掲載します。

最新の情報は
こちら▼



健康ビジョン加速化事業

本町の高齢化率はR4年度38.5%と県平均より7.3ポイント高く、2045年には人口の54%以上が65歳以上となる見込み。また、R4年度70～74歳の生活習慣病の有病者は80%を超えており、高齢になるにつれ疾病の重症化や心体の活動低下が懸念。このような状況を打開すべく、4課合同で健康事業について加速的に取り組む。

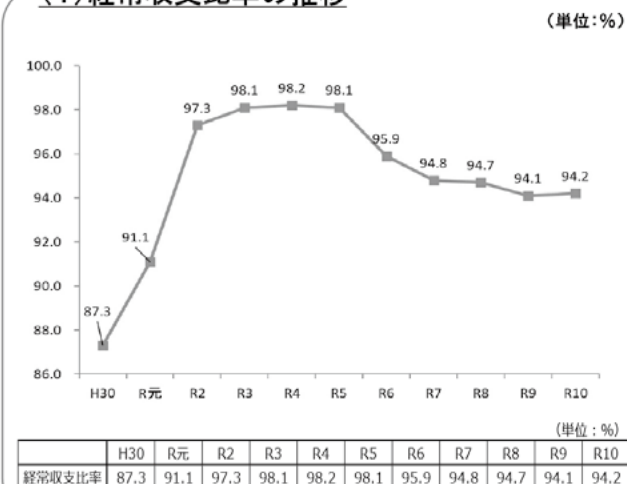


市川三郷町 財政の中期見通し (R6.2.21)

- R6年度一般会計当初予算をベースに、行財政改革推進計画の取組内容を加味したR10年度までの5年間の財政収支の見通しを策定・公表。
- R6年度当初予算編成より、一般行政経費に係る一般財源に対前年度90%シーリングの導入や、町単独補助金の見直しを行った結果、町債残高の漸減に加え、毎年の財源不足見込額も6～8億円程度から3億円程度に抑制することが可能となり、本町財政の持続可能性向上に寄与。

● 主な将来見通し

(1) 経常収支比率の推移



(2) 町債残高の推移

